

# ウガンダ共和国 オーガニック精練技術を活用した綿花製品 の付加価値向上に関する案件化調査

## 企業・サイト概要

- 提案企業：株式会社スマイリーアース
- 提案企業所在地：大阪府泉佐野市
- サイト・C/P機関：カンパラ市・ウガンダ貿易産業協同組合省、ウガンダ開発公社(UDC)、綿開発機構(CDO)



## ウガンダ国の開発課題

- 農業が基幹産業であるものの、農業生産性が低く農民層の所得向上に結び付いていない。
- 政府がオーガニックコットンを使った特産品化に乗り出したが、現在はアジア圏産の廉価な綿製品に市場を奪われ難航している。加えて、現況ではオーガニックコットンはコンベンショナルの綿に比べて生産性は低くしかも価格差もない。

## 中小企業の技術・製品

- 化学薬剤をほとんど使用しない精練技術。コスト、環境汚染、資源使用量を限りなく抑えている。
- 当技術で加工されたオーガニックコットン製品は手触り、風合い、使いやすさは元より、アレルギー対策や環境保全にもなることより、日本を始め一部の国では、従来型の製品よりも価格は高いものの需要が伸びており、市場が確立されている。

## 調査を通じて提案されているODA事業及び期待される効果

- 草の根技術協力事業：現地の農家の収穫後処理技術(品質管理)を改善することでウガンダ産オーガニックコットンの付加価値向上につながり、小規模農家の生計向上が期待できる。
- 草の根人間の安全保障無償資金協力：収穫後の綿花を保存する倉庫の設置によって品質を悪化させる雨を防ぐことができるため、ウガンダ産オーガニックコットンの付加価値向上につながり、小規模農家の生計向上が期待できる。

## 日本の中小企業のビジネス展開

- ウガンダ産オーガニックコットンのブランド化と、それを原材料とする最終製品の販路拡大。